

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。この研究は臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名	昭和大学横浜市北部病院における内視鏡挿入時間の調査		
2. 研究責任者	所属	職名	氏名
	昭和大学横浜市北部病院消化器センター	助教	山内 章裕
3. 研究の概要・計画	【研究の背景】 当院では初回検査や前回問題なく挿入された症例は CF-HQ290Z(通常スコープ)、前回通常スコープで挿入困難だった症例や軽度癒着が想定される腹部手術歴などの症例には PCF-Q260AZ(PCF)、前回 PCF にて挿入困難だった症例や複数回の腹部手術既往など強固な癒着が想定される症例は PCF-PQ260(PQ)を用いるなどの対応を行っています。これらのスコープの変更は盲腸到達を容易にしていると考えています。 【目的】 大腸内視鏡スコープの特徴として PQ の挿入性が優れていると考えられています。しかし PQ は硬度可変がなく、全ての症例が PQ に変更することによって挿入時間が短縮されるわけではないと考えている。当センターで提示した Strategy を用いて PQ と通常スコープの比較を行いその挿入性を検討したいと考えます。 【対象と方法】 当センターで大腸内視鏡検査を施行された症例中、PCF-PQ260I (PQ260) と CF-HQ290ZI(HQ290Z) とともに挿入歴がある症例について、それぞれの盲腸到達時間の後ろ向き比較を行います。また PQ と H260AZ との比較検討を行い、スコープの操作性を検討します。 調査対象期間：2010年8月1日～2016年6月30日 調査対象情報：当院で内視鏡検査を行い、同一患者で各スコープを行っていた症例 調査項目：内視鏡スコープ、挿入時間、前処置薬、性別、年齢、体重、身長など		
4. 研究実施期間	倫理審査承認後に実施医療機関の長の実施許可を得た後～2017年12月31日		
5. 問い合わせ先	所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 助教 氏名 山内章裕 住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000 (代表)		

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。